

## SuperH RISC engineファミリ用および H8SX, H8S, H8ファミリ用シミュレータデバッグの ご使用上のお願い

SuperH RISC engineファミリ用およびH8SX, H8S, H8ファミリ用シミュレータ デバッグの使用上の注意事項を連絡します。

- 周辺[機能用]クロックレート設定に関する注意事項

シミュレータデバッグはSuperH RISC engineファミリ用およびH8SX, H8S, H8 ファミリ用コンパイラパッケージにそれぞれ同梱されています。

### 1. 該当製品

- SuperH RISC engineファミリ用シミュレータデバッグ V.9.08.00
- H8SX,H8S,H8ファミリ用シミュレータデバッグ V.5.07.00

ご使用のシミュレータデバッグのバージョンは、以下の方法で確認できます。

- (1) High-performance Embedded Workshopのメニュー「ツール」->「アドミニストレーション」を選択する。
- (2) 開いたツールアドミニストレーションダイアログボックスの「登録済コンポーネント」リストから、現在使用しているシミュレータデバッグを選択し、プロパティボタンをクリックする。
- (3) 表示されたプロパティのダイアログボックスの情報タブを選択すると、シミュレータデバッグのバージョンが表示されます。

### 2. 内容

シミュレータデバッグ起動時に表示する「シミュレータの設定」ダイアログボックスの「周辺機能シミュレーション」タブで、周辺クロックレートを1以外に設定できません。

また、以前のバージョンで周辺クロックレートを1以外に設定したセッションを該当製品で使用する場合、起動時に「シミュレータの設定」ダイアログボックスを表示させなければ何も問題ありませんが、「シミュレータの設定」ダイアログボックスを表示させて、OKボタンをクリックすると、周辺クロックレートが1になります。

なお、この時OKボタンを押さずにキャンセルボタンをクリックした場合は、以前の設定値を保持します。(注)

**注:** 「シミュレータの設定」ダイアログボックスの「このダイアログを表示しない」チェックボックスをチェックした場合、次回のシミュレータ起動からこのダイアログボックスを表示しません。

### 3. 回避策

周辺クロックレートを1以外に設定する場合は、以下の手順を実施してください。

- (1) シミュレータデバッグ起動時に表示される「シミュレータの設定」ダイアログボックスで各項目を入力し、「このダイアログを表示しない」チェックボックスをチェックして、OKボタンをクリックする。
  - (2) メニュー「表示」から「コマンドライン」を選択して、コマンドラインウィンドウを表示し、P\_CLOCK\_RATEコマンドを使用して周辺クロックレートを変更する。  
P\_CLOCK\_RATEコマンドの説明  
シンタックス： P\_CLOCK\_RATE [<rate>]  
設定可能なパラメータ： 1、2、3、4、6、8、12、16、24および32  
パラメータ省略時は、現在の周辺クロックレートを表示します。
- なお、次回以降、周辺機能シミュレーションの設定を変更する場合は、以下の手順を実施してください。
- (3) メニュー「基本設定」->「オプション」を選択して「オプション」ダイアログボックスを表示する。
  - (4) 「確認」タブの「起動時にシミュレータの設定ダイアログを表示」チェックボックスをチェックして、一旦シミュレータデバッグを終了してください。
  - (5) 再度起動し、(1)および(2)項の操作をしてください。

### 4. 恒久対策

以下の次期バージョンで改修する予定です。

- SuperH RISC engineファミリ用シミュレータデバッグ V.9.09.00
- H8SX, H8S, H8ファミリ用シミュレータデバッグ V.5.08.00

---

**【免責事項】**

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.